



2023年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月11日

上場会社名 株式会社エム・エイチ・グループ

上場取引所 東

コード番号 9439 URL <https://mhgroup.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 朱峰 玲子

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員管理本部長 (氏名) 家島 広行

TEL 03(5411)7222

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第1四半期の連結業績(2022年7月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第1四半期	471	3.8	11		16		11	
2022年6月期第1四半期	454	2.0	9		5		10	

(注) 包括利益 2023年6月期第1四半期 15百万円 (%) 2022年6月期第1四半期 8百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第1四半期	0.96	
2022年6月期第1四半期	0.91	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第1四半期	1,853	502	27.0
2022年6月期	1,805	487	26.9

(参考) 自己資本 2023年6月期第1四半期 500百万円 2022年6月期 485百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期		0.00		0.00	0.00
2023年6月期					
2023年6月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2023年6月期の配当予想につきましては、現時点で未定であります。

3. 2023年6月期の連結業績予想(2022年7月1日～2023年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)									
通期	1,900	2.8	35	17.0	35	6.1	15	11.1	1.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年6月期1Q	11,492,100 株	2022年6月期	11,492,100 株
期末自己株式数	2023年6月期1Q	48 株	2022年6月期	48 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年6月期1Q	11,492,052 株	2022年6月期1Q	11,492,052 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績の見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、決算短信(添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」)をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の変異株の拡大、ロシアウクライナ情勢に起因した資源価格の高騰、急激な円安の継続など、引き続き景気の先行きは不透明な状態が続いております。しかしながら、国内外において感染拡大の防止策やワクチン接種が促進され、また日本国内の水際措置も緩和されるなど、景気の持ち直しの動きも見えております。

当社グループが属する美容業界におきましては、サロンの来店客数は戻りつつあるものの、従前の状況まで回復するには時間を要することが見込まれます。

このような状況のもと、引き続き、当社グループにおきましても、お客様並びに従業員の安全確保、感染拡大を防止することを目的に、種々の感染防止策を講じるとともに、昨年に引き続き新たな収益の柱となるコンテンツの創出に注力しております。

当第1四半期連結累計期間の売上高につきましては、直営サロン運営事業、美容室支援事業及びキャリアデザイン事業は堅調に推移し、前年同期に比べ増収となったため、全社としても前年同期に比べ増収となりました。営業損益及び経常損益につきましては、いずれも営業利益、経常利益となりました。親会社株主に帰属する四半期純損益につきましても、前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失でしたが、親会社株主に帰属する四半期純利益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高471,244千円（前年同期比3.8%増）、営業利益11,021千円（前年同期は営業損失9,564千円）、経常利益16,325千円（前年同期は経常損失5,800千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益11,008千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失10,494千円）となりました。

セグメント別の状況については以下のとおりであります。

(直営サロン運営事業)

日本全国に展開するBSサロン（フランチャイズサロン）のフラッグシップサロンとして、首都圏主要地域を中心に直営サロン12店舗（モッズ・ヘアサロン11店舗、美容室セラヴィ1店舗）を展開しております。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、コロナ禍での各種施策を引き続き継続しており、既存店の業績は前年同期に比べ回復基調で推移しました。セグメント損益につきましては、前年同期はセグメント損失でしたが、セグメント利益となりました。なお、引き続きこの先のウィズコロナ、アフターコロナ時代の競争力を高めるうえでも優秀なスタッフは不可欠であり、従業員の不安を解消するとともに人材育成に注力しております。

当第1四半期連結累計期間の直営サロン運営事業の業績は、売上高230,206千円（前年同期比8.3%増）、セグメント利益17,176千円（前年同期はセグメント損失8,146千円）となりました。

(BSサロン運営事業)

「モッズ・ヘア」では、本部、加盟店という従来のフランチャイズ関係ではなく、共に一つのブランドをシェアするという意味で、ブランドシェアサロン、BSサロンと呼んでおります。当第1四半期連結累計期間の店舗数の異動は、国内BSサロンの閉店1店舗、韓国での閉店1店舗により、減少2店舗となりました。当第1四半期連結会計期間末日現在におきまして、国内42店舗、韓国16店舗、台湾2店舗及び中国3店舗の計63店舗となっております。

当第1四半期連結累計期間の業績は、プライベートブランド商品（PB商品）をはじめとした商品販売に引き続き注力することにより、PB商品売上は堅調に伸びております。一方で、直営サロン同様に国内BSサロンにおいても来店客数は徐々に戻ってきておりますが、閉店店舗の影響などにより、前年同期と比べ減収減益となりました。

当第1四半期連結累計期間のBSサロン運営事業の業績は、売上高73,451千円（前年同期比7.7%減）、セグメント利益26,618千円（前年同期比19.9%減）となりました。

(ヘアメイク事業)

当社は、「モッズ・ヘア」の原点であるフランス・パリのスタジオワーク専門のヘアメイクチームのプロフェッショナル精神を引き継いだ「モッズ・ヘア」ヘアメイクチームを有しております。

当社のヘアメイクチームは、ヘアメイクアーティストのエージェンシーとして「パリコレクション」や「東京コレクション」などへの参加や、CM・ファッション雑誌など年間2,000件を超える媒体を手掛けるなど、国内及

び海外で高い評価を得ております。

ヘアメイク事業におきましては、ブライダル部門において婚礼の自粛が続く中でも徐々に婚礼数が戻ってきており、スタジオ部門においても堅調に推移しておりますが、原価の値上げなどの影響により、当第1四半期連結累計期間は売上高99,129千円（前年同期比0.0%減）、セグメント利益3,408千円（前年同期比28.0%減）となりました。

（美容室支援事業）

当社グループでは、日本国内でのモッズ・ヘアサロンの事業展開を通じて、様々なスケールメリットが創出されます。それをサービス化したクレジット決済代行サービス、株式会社ティビィシィ・スキヤツトとの提携による美容サロン向けPOSレジ顧客管理システムなどを一般のサロンに提供する美容室支援事業を行っております。また、美容室支援事業におきましては、先述しましたとおり、株式会社ティビィシィ・スキヤツト、ENECHANGE株式会社、提携各社の有するノウハウを活用し、理美容業界における持続可能な環境経営支援（SDGs）として環境配慮型メニューの開発並びに普及を進めております。

当第1四半期連結累計期間においては、美容室支援事業の主力であるクレジット決済代行サービスの契約件数は堅調に増加しており、売上高28,324千円（前年同期比2.5%増）、セグメント利益16,908千円（前年同期比0.7%減）となりました。

（キャリアデザイン事業）

2020年7月より人材派遣事業、人材紹介事業を営む株式会社オンリー・ワンを連結子会社化いたしました。当社グループでは、単に人材派遣事業、人材紹介事業と捉えず、キャリアデザイン事業として新たな成長戦略の柱として位置付けております。

当第1四半期連結累計期間においては、キャリアデザイン事業につきましては、当社グループに加わったスケールメリットを活かした販路の拡大が順調に推移し、現在注力しているタワーマンションを中心としたコンシェルジュの派遣等も、着実に件数を伸ばしております。

キャリアデザイン事業の当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高65,701千円（前年同期比19.1%増）、セグメント利益6,117千円（前年同期比109.1%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ48,769千円増加し、1,853,994千円となりました。主な要因としましては、現預金の増加102,590千円、未収入金の減少46,090千円、のれんの減少3,854千円、貸倒引当金の減少2,745千円などによるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ33,334千円増加し、1,351,085千円となりました。主な要因としましては、短期借入金の増加100,000千円、長期借入金の減少7,302千円、未払金の減少44,771千円、未払法人税等の減少7,852千円、社債の減少7,000千円などによるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ15,435千円増加し、502,909千円となりました。主な要因としましては、親会社株主に帰属する四半期純利益11,008千円などによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年6月期の連結業績予想につきましては、2022年8月18日付「2022年6月期 決算短信」にて公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	571,734	674,324
受取手形及び売掛金	110,618	112,263
商品	71,559	71,750
未収入金	717,899	671,809
その他	26,941	25,392
貸倒引当金	△3,342	△597
流動資産合計	1,495,410	1,554,943
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	274,484	274,484
減価償却累計額	△230,415	△232,533
建物及び構築物(純額)	44,068	41,950
工具、器具及び備品	67,798	67,798
減価償却累計額	△54,668	△55,281
工具、器具及び備品(純額)	13,130	12,517
その他	5,440	5,440
減価償却累計額	△3,588	△3,833
その他(純額)	1,852	1,607
有形固定資産合計	59,050	56,074
無形固定資産		
のれん	70,998	67,143
その他	1,861	1,726
無形固定資産合計	72,859	68,869
投資その他の資産		
投資有価証券	37,878	44,250
長期貸付金	32,208	32,208
関係会社株式	8,758	8,758
差入保証金	121,805	115,120
繰延税金資産	2,695	1,764
その他	8,691	6,229
貸倒引当金	△34,754	△34,754
投資その他の資産合計	177,283	173,578
固定資産合計	309,193	298,523
繰延資産		
社債発行費	620	527
繰延資産合計	620	527
資産合計	1,805,224	1,853,994

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,845	12,779
短期借入金	100,000	200,000
1年内償還予定の社債	14,000	14,000
1年内返済予定の長期借入金	30,847	29,178
未払金	844,552	799,780
未払法人税等	13,166	5,313
未払消費税等	27,934	23,688
契約負債	22,599	22,641
賞与引当金	2,136	999
株主優待引当金	10,619	8,934
その他	42,821	44,416
流動負債合計	1,118,522	1,161,733
固定負債		
社債	16,000	9,000
長期借入金	61,758	56,125
受入保証金	61,000	61,500
資産除去債務	18,565	18,585
退職給付に係る負債	2,123	2,294
役員退職慰労引当金	13,200	13,599
その他	26,580	28,246
固定負債合計	199,228	189,352
負債合計	1,317,751	1,351,085
純資産の部		
株主資本		
資本金	517,040	517,040
資本剰余金	119,189	119,189
利益剰余金	△149,496	△138,487
自己株式	△13	△13
株主資本合計	486,720	497,728
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,224	3,202
その他の包括利益累計額合計	△1,224	3,202
新株予約権	1,978	1,978
純資産合計	487,473	502,909
負債純資産合計	1,805,224	1,853,994

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)
売上高	454,003	471,244
売上原価	327,183	331,399
売上総利益	126,820	139,844
販売費及び一般管理費	136,385	128,823
営業利益又は営業損失(△)	△9,564	11,021
営業外収益		
受取利息	2	2
助成金収入	2,940	43
為替差益	27	239
受取配当金	-	330
貸倒引当金戻入額	870	2,745
違約金収入	-	2,310
その他	342	580
営業外収益合計	4,183	6,251
営業外費用		
支払利息	320	640
社債発行費償却	93	93
その他	6	213
営業外費用合計	419	947
経常利益又は経常損失(△)	△5,800	16,325
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△5,800	16,325
法人税、住民税及び事業税	4,694	5,316
法人税等合計	4,694	5,316
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△10,494	11,008
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△10,494	11,008

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△10,494	11,008
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,139	4,426
その他の包括利益合計	2,139	4,426
四半期包括利益	△8,355	15,435
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△8,355	15,435
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年7月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	直営サロン 運営事業	BSサロン 運営事業	ヘアメイク 事業	美容室支援 事業	キャリアアデ ザイン事業	計		
売上高	212,610	79,552	99,174	27,640	55,168	474,144	△20,142	454,003
セグメント利益 又は損失(△)	△8,146	33,218	4,735	17,023	2,925	49,756	△59,320	△9,564

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△59,320千円には、棚卸資産の調整額181千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△59,501千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社的一般経費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	直営サロン 運営事業	BSサロン 運営事業	ヘアメイク 事業	美容室支援 事業	キャリアアデ ザイン事業	計		
売上高	230,206	73,451	99,129	28,324	65,701	496,812	△25,568	471,244
セグメント利益	17,176	26,618	3,408	16,908	6,117	70,229	△59,208	11,021

(注) 1. セグメント利益の調整額△59,208千円には、棚卸資産の調整額5千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△59,214千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社的一般経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。